光

第二十九輯

大正十三年二月

●光の友へのことば……西田天香
●結婚式私案……中桐確太郎
●恩愛に叛きゆくもの……松下吉衛
●省察と直視と……G M 生
●ある日の托鉢……無道道人

同人　懺悔報恩の奉仕者
祈願　不二の光明によれる生活
費用　供養されたる浄財

●天香師のメモから……B 生 抄
●大正震災の歌……福原俊丸
●一燈園生活問答……まつした
●京都一燈園日記……高頭生
●東京一燈園だより……K M 生

一燈園・宣光社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

在東京同人の托鉢　東京一燈園當番　松下吉衛報告（大正十三年二月一日現在）

托兒事業	青山外苑『子供の家』	松下、河村、矢野、鄭、杉谷、梶浦
診療慰問		磯部、加藤、藏岡
震災救護	內務省社會局內	立山、中西、吉田、小竹、岩崎、佐藤、植
調査連絡事務	震災救護打合會	松、林、渡邊、大津、黑田、松下、須佐、
バラック管理事務	日比谷公園バラック	八田部、
	九段靖國神社境內バラック	藤田、
	芝公園バラック	夏井、
	芝離宮バラック	嵯峨、小柳
	青山外苑バラック	中山、
	上野公園竹ノ臺バラック	石塚、
	麴町上二番町バラック	近藤、
	麴町一番町バラック	島田、
	牛ケ淵公園バラック	同
	日比谷公園『憩の宿』	亀井、石原
勞働者宿泊所事務	淺草寺簡易宿泊所	松井、高坂
隣保事業一般	芝公園『父の家』	夏井、
	本所基督教産業青年會	鈴木、丸山、小林、
	深川猿江裏町善隣館	久保田、赤松、
養老院事務	瀧野川養老院	大舘、
工務所經營	本所小泉町淺海工務所	淺海、
一時奉仕	上戸塚、玄光社（磯山、浦岡）　中澁谷、渡邊（八田）　赤坂田町　奥田（田村）　四谷、江口（宇戸）	

光の友へのことば

西田天香

『此まゝならば國が亡びる』といふ感じが、しきりに頭にひゞく、そんな不祥なことをいひたくないと思ふても、直覺的に、また推理してもそう思はれてならぬ。かく思ふ毎に、私は二つの仕事を急ぐ、一つは豫定せる私の懺悔の歩み、他の一つは、諸方の光友のたましひをおがみあふ爲めの『光の友會』の湧出である。

私の懺悔の歩みは、やれるだけやらせてもらふてゐます。何分にも引もどされがち、はがゆい事だらけであるが、私だけに眞劍味は失ふてはいないつもり、又いつかこれは聞いていたゞく時がくるとしまして、玆には『光の友會』の生れぐわいについて、御報告させてもらいます。

團結は力である。けれども同時に一人にての深みはへり勝ちになる。會といふ會が、あまり生命のある事の出來ぬのは、此の爲めであるらしい。『光の友會』はこうしたものに終らせたくない。それにはどうしたらよいものか。私の願ひは、一、最必要な實際問題に深くふれてゆく事。二、成るべく自發的に出てくるものをまとめて、それを中央に統一して強い力としてゆく事である。

若い元氣な同人達は一部今東京で震災地の托鉢をしてゐて下さる。他の一部は中心に限りなき托鉢の要求に應じて、それ〴〵契縁をして下さる。私はとつおいつ念願していますが、『おひかり』は色々の姿において『光の友會』を湧き出させて下さる樣である。

信州飯田に大きな醬油釀造家がある。今の主人は非常な眞面目な人で六十前後の人である。無一物からたたき上げて、かたすぎるといはれるほどの人。その弟さんが會社にいり、もうけぬさきに錢づかひを覺え、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

すきな婦人も出來て浮足となり、少からぬ損をして兄様に申譯がたゝず、東京へ出て苦勞をされたのが一昨年の秋頃であつた。どうしたはづみか一燈園へ入園されて一年あまり托鉢をつゞけられたが是はまた反動的か、たゞの一日も休まれたことがない、往く處として喜ばれぬ家はなく、全く美事な奉仕ぶりであつた。入園されて、幾日目かに、私の處へやつてきられて、

『天香さん、ありがたう、托鉢の味ひよくわかりかけました。』

『どうした事でそう手つ取りはやく?』

『あるホテルに二三日前からお掃除にゆきましたが、今日も三階の手摺りをふきながら下の前庭を見おろしますと、自働車が威勢よく出入します。實は私も、一昨年そのホテルに自働車でかけこんだものでした。處が天香さん、ふところが淋しいのです、ヤリクリ算段がはづれましてどうすることも出來ませんなんだ。ヤットの無理して歸りましたが、思ひ出してもゾットします。今日も上から出入する自働車を見て若しやそのうちには、大きな無理をせねばならぬやうな人がありはせないか、など思ふとおかしな氣持がいたしました。私は今日ホテル中に一ぱいになつていまして、そうして喜ばれて何の心配もない。ひくい仕事のやうでも少しもぶちこわしは致しませぬ。破壞と建設との相違があるやうに思はれます。懺悔の生活は同時に大建設であることを信ずるやうになりました。ありがたう。』

といふ樣な事もあつた。すきな婦人もひそかに托鉢生活されてわかれ〳〵で辛抱された。二人とも美い仕事が澤山出來てをりました。飯田の兄さんが此樣子に安心されて、つまり勘當がゆるされたのです。たゞそれのみならず兄さんのいはれるには

『弟が金をつかひますときに、私は大分考へさせられました、殊に一燈園の事など參照しまして、なるほど金はいたづらにためるものではないい、いたづらに使はぬやうな方法と、そうした生活をすることなくては、むしろ害あつて　がない、宣光社といふ方法はどんなものかくわしく味はねば分りませぬが、正しい預り方

ゐるのだと承つてゐます。若しさうならば宣光社の方法にしたいとおもひます、そうして弟にその婦人をめあはせまして、うちへ托鉢させて見たいとおもひますがどうでしよふ。』

私は無論賛成で昨年冬一燈園で、兄さんも態々きられて、一燈園で結婚の式をあげ、今は無事に飯田で托鉢をされてゐます、その事の取決に十一月に飯田へゆきました。いはば此家は商業を宣光社にたましひと生活を一燈園にするといふので、私にしても至極大切な試みをしてもらふ事になつてゐるからであります。殊に此家は長姫一燈園とよんで、過ぐる一年程は同人が入かわり立かわり在園して、諸方へ托鉢をしてゐる處でありますので、『光の友會』は當然生れなければならぬ土地なのです。

行つまつた問題が明るくなつて、店が宣光社になり生活が一燈園になり、道場も出來るとなるとありがたい。たゞ頭だけの研究や理屈をならべる會であつてはならぬ。實際問題を明かにあげて、空想を書くあつまりであつてはならぬ。同人が今毎朝祈念をこめてゐてくれられる。會則や會員名簿はまだ調はぬが、『飯田光の友會』は事實には出來てゐる。

上下條といふ村がある、同じ下伊那郡で山奥である。一泊がけに引ずられて行つた。講演をすませた晩、私の宿は村長さんの宅であつた。夜炬燵をかこんで十三人あつまられた。學校長敎頭及一二の先生、畫家及齒科醫及夫人色々の人、まことに山奥だけに純朴なにほひがする、景色の大へん美い處である。その晩の話しは『おひかり』は托鉢やつて見ぬと分らぬといふことに結論されて、翌朝六時を期して、産神さんにあつまつて禱仕する事にして別れた。

私は五時半に眼がさめて、村長さんも起さずに、獨り小さな箒を持つて、星明かりに裏の山手のうぶさんにゆく。誰れもきてゐる氣はいは見えぬ、石段の下からぼつ〳〵一人で落葉をはく。靜かに耳をそばだてると誰れか高い處で掃く音もきこえる樣であるが、別にたづねてゆく氣にもならぬ。銘々無心にはいてゐる。村長さんが灯提さげて上つてくる、校長さんも他の人等もくる、齒醫者さん夫婦もくる。昨夜の十三人は皆

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふつまつて、廣い境内を掃き清める、禱りを込めるといふわけでもなく、また元氣にまかせてやるでもなく、何か又一種の落付いた氣持がする。驚いたのは社さんの掃除番。

『何んです…今日は？　何事です……』

みなはニタ々々笑うてゐる。七時がなつた、一燈園にもきて此邊のお世話をする人で、神官をなさる人が

『どうぞお集り下さい、これから祈詞をあげますから』

皆拜殿にぬかづいてゐる。高天原がはじまつて、そのうちに『轉禍爲福の三重の願』まで、つゝまやかに讀み込んである、私はそれにおどろいたが、思はず一同頭を下げた。

『どうぞ神樣、おまもり下さい。此まゝでは國が亡びます。』とひたすらにお願した。その神官のKさんがこちらをむいて、

『大下條の光の友會は神前で結ばれました。』

山を下ると旭光は天龍川の向ふの山の端に輝く、川霧が太くながれる、やがて雲の海となる。小山が島の樣にも見えて、神代時分の氣持がする。天孫がヲノロロ島へ天降られる時の樣な心持、畫の先生は、とても此景色は……と驚畏する。光の友會の會場はいかにも莊嚴極まれりてあつた。村長さんの宅で小休みをして學校へ托鉢にゆく、校長教頭さん達と共に村長さんも掃々をはじめる、下駄箱より便所迄。他の先生も生徒も、何ものかに打れたやうであつた。生徒に一寸でも是非にと頼まれて三十分程はなしをして表ての齒醫者さんの家に往く、齒の先生飛び拔け喜ばれていはれる

『先生、こんな喜ばしいことはありませぬ。あれから家へ歸りますと家内が別人の樣になつて働いてゐます。ヤッテルナといひますとニタリと笑つてゐるのです。私も此美しい氣持のまゝで朝から相當仕事をしました、二十圓程の仕事です、今迄何をしてもこれをすれば何圓何十圓と思はいでは致しませぬのに、今朝の仕事は全[illegible]です。『夫人が出てきて云はれるには、

おこしたのは五年前でしたが、中々[illegible]

……何かしきりに祈つてゐなさる。主人をおこしたのは五時半てしたが、中々起きようといたしませぬナントカカとか申します、無理に起していつたのですが、あまりよいきもちてありましたので、主人が妾に禮をいふてくれました。結婚してから今日まで、妾に禮をいふて呉れましたのは、今日が始めてなのですよ。つゞけてやると申します。』

私は合掌した、朝起きとなり、夫婦が合掌みあひ、朝つぱらに二十圓價の仕事もはかどつて、それが金もうけと連想せずに出來たといふこと、小さいながらに、あらゆる事が活々としてゐる。生活、仕事、信仰が渾融して、しかもはじめて夫婦の間に、敬虔の念が出たなどは、光の友會にふさはしい。これは獨り此齒醫者さんばかりでないらしい。大下條の光の友會はかくして種が十三人のうちに下ろされたのです。

自働車に載せてもらふて、山や谷をかけ廻り、流れにそへ林をぬけて、下川路村迄歸る。こゝは飯田へ四里程の處、名高い天龍橋のある近所。講演會も大入りで、其夜は大下條での模樣を話した。報德社の社長さんのおんどとりで『長といふ名のつく人は皆明朝六時に産神さんにあつまつて下さい。』村長さんも校長さんも賛成された。二十四五人さんの共鳴となつた。

私は報德社長さんの宅にとめて貰ひ、例の通り五時半に起きて、同人三人に主人を加へて、又星明りに社頭へゆく。箒かゝへて先きにゆく人は村長さんてあつた。久振りの朝起ですといはれた。神階は近ごろ造營になつた。下から上まで掃きかけた。一人二人三四五、女の人も加はつて二十四五人もあつたでしよふ。すべて昨朝の大下條の通り、神前でまたK神官の祈詞のあとに嚴かに光の友會に結ばれた形。玆でも眞向ふに旭光を浴びた雪山をながめ、曲蘭亭曲水の繪卷きものゝ様な景色を前に、落葉を焚き箒を手にして茫然と見つめてゐる。何ものかこみあげてくる。ふといきれいなたましひの力。

村長の『役場へ寄つて下さい』に一同社頭を下つてゆく、役場も隨分落葉でうづまつてゐる、まづ門前から掃きかける。何といふても二十餘人、それて掃除すりやはかどるは極まつてゐる。ドン〱と落葉を焚

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

く、バケツ雜巾が眼をまはす、內外臨時の大掃除が出來たようなもの。校長さんがせんべいを二袋買うてくる、寫眞を撮りにくる人がある。近所の人は、『なんです』と眼をコスッテ聞いてゐる。二階で休息してお茶をよばれる、長のつく人大抵あつまられたらしい。社長村長病院長、學校長に何々長、何でもそれ〴〵有力者の方らしい。名前を書きつらね、會則なしに光の友會はまづ基礎を惠まれた。報德社長さんの宅に歸り、托鉢の同人十餘人あとさきになつて飯田に歸つた。茲に不思議なのは極めて行詰つた一人の方が、此日をさかひにおひかりにみちびかれ、復雜な纏縛から眼を覺まして、四五日同人とともに托鉢し、放ち難い酒を忘れ、法悦に醉ひ奉仕をなし、はては一燈園まできてしまはれたことである。此人の問題は一寸片付そうにもないが、たましひはよびさまされた。一燈園からある尼寺へ托鉢にゆかれてそこから呉れた手紙を見ると『靜かな山寺の夕まぐれゴーンと鐘をつきますと、何ともいはれぬよい氣持です』とある。半月前には親達も親類も、どうなることかと思うてゐられたのに、すら〳〵とかくなられた、あすの事は分らぬけれども、おひかりの力のありがたさをおがまずには居られぬ。理屈や意見や說法ではこの樣なあざやかさは決して現はれぬ。順逆ともに光友の方々にそれ〴〵ありがたい事實が生れてあるとおもひます。

松本市では淺間の温泉の鷹の湯といふ家に開かれた。此家の主人が此頃非常に一燈園に共鳴されて、あとさき二度迄よせてもらうた、同人の托鉢も茲ではまるで保養をさせてもらうた形、勿體ないほどであつた。あつまりし人は各方面の人、矢張三十人程であつた。こゝは會則も出來、趣旨書も配つてあつた。種は前から蒔かれてあつた。同人S氏が松本の出であるので熱心な光友の間にだつて、何といふてもまとまつてゐる。ら左の挿話で、いかにも實際問題に觸れてゐる事を知つてもらひたい。

Nといふ方がある、私に

「私が持つてゐます田地の、小作をしてゐる人の家にゆきました、それは一度まけたあとの小作米を二十三俵半と決めましたのに、かなりの不謙遜な體度で、二十俵にまけて下さいといふのです、まるで先方から

あてがひぶちても出すやうに威丈高になつていふのです。まけたあとにまた三俵半をまけると、地主としては立ちゆきませぬ。他の例になつてもわるし殊に其態度が私のむねをこみあげさせました。小作の人の鼻息が、此頃は丁度地主と顚倒です。けれども私はおひかりに恵まれました。その前日にあなたの話を伺ひました。あの伊豫の國の小作爭議が一燈園の托鉢によつてあざやかに整理されたおはだしを何とか應用せねばならぬと思ひました。まづ考へましたのはその三俵半だけを私が酒を呑まぬ事にしやうと決めました。妙です、こう決心するとまた穴勝に腹のみたちませぬ。まて〳〵、三俵半だけ酒のまぬとする、すればそれだけ仕事がはかどる。損から生み出す利益でないか。からだのためにもよければ一段仕合となるはづだと、この様に思ふたり、小作の人にむける顏も心と共に落付ました。『よろしい、まけやう。私は昨日よい話しをきいた。それで三俵半だけ酒をのまぬ事にしてまけましよう。私の仕合の種になるかも知れぬ』とこんな鹽梅にやさしい氣持で返事が出來たのです。全く不思議です。小作の人も、張合がぬけた様な顏をしましたので、私は『一つお願ひがある、承知してくれまいか』『なんです、何んなりとおつしやつて見て下さい』小作の言葉は前のやうに荒くない。私は序にたのみました『どうかその三俵半をわるい事に費して下さるな』と。小作の人は大分沈んで考へてくれました。處があなた傍らに居た女房と母親が膝を進めて私に申します。『旦那さんよい事をいふてやつて下さつた、ありがたう』とてあつたのです。意外でした、あとは御想像に任せます。小作の人は酒をすごすらしゐのです。私は三俵半まけた位ではとても買はれぬ喜びにみたされました。三俵半の問題から、双方ともに修行が出來る事になつたのです』

　この話しには、非常な深い意味がある。小作爭議が年々熾烈になつてきて、對策も色々研究されてゐるけれども、かうした脈の整理方は、おひかりによらいで生れて出ぬ、轉禍爲福である。爭ひの年貢米を前につんで、どれ標準と定めやうもない問題を、たゝ權利さへ主張すればよいもの、様に双方から言ひつのるとする。手間を費やし、費用をかけ、にらみあひ訴訟をする。こんな事が全國的にならうとする形勢が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あるが、こうなりや無理にも兩は亡びる。何れがよい又ゝわるいといふのでない。双方共に懺悔がないのがいたましい。

此三俵半の話しは、おひかりによつて妙な解決をしてゐます。ある夫婦問の問題や、經濟上の問題などがこんな調子に整理されてゆく事が、光の友會の功果でありたい。

安曇郡では大町に池田町、豐科町、伊那郡では前の三ヶ所の外に赤穗町光友は澤山ある、長野市にも本月長野光の友會が組織されました。是は又別におしらせする時があると思ひます。此外にも最近また／＼惠まれた事實があつて、そこにはそれ／＼光友があつまられる事になつてゐる。

自然に生れてくる、たましひの深い眼覺から、それを一つにまとめかためて、ともすれば亡びようかと思ふ國の建物のクサビにしたい。是には銘々の深い懺悔を心要とする。まづ自分からだ、他をいふではない、思ひ切つて勵まねばならぬ。皆様のお添禱を願ふ。

松本光の友會申合

名稱　松本光の友會

目的

一、お光により懺悔と下座に努め、簡易にして眞劍な生活をさせて頂くこと

二、みやびやかなうはべな氣分を脫れ、質實精進の生活に甦らさせて頂くこと

三、人々親疎のわかちなく心のそこより愛し合ひ眞の平和を將來させて頂くこと

四、集會　隔月一回、その他隨時。集會には一燈園の西田天香さんや先達の列席をお願ひすること。又同人の托鉢をお頼みすること

五、會費　供養による

六、當番　住山久治

七、會員　二十五名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

結婚式私案

中桐確太郎

私は曾て小著『予の戀愛觀』に於て、結婚につきて次の如く述べました。

結婚の意義

私は結婚を定義して、戀愛の具體的顯彰を完からしめんが爲に、精神生活發達の程度に應じて建てられたる一つの社會的制度であると申してをります。故に其の形式は決して一樣に限るべきではないと思ひますが、現今の精神生活の程度に於ては、やはり、一婦一夫制が最も適當であると信じてをります。

結婚は戀愛の具體的顯彰でありますから、戀愛を基礎とすべきは申すまでもありませんが、社會制度の一つでありますから、戀愛相思の間柄は必ず結婚せねばならぬと限るべきではないと思ひます。また戀愛を解して、『或る異性美によりて開發せられ、賦彩せられたる愛なり』と申します限り、(『予の戀愛觀』參照)戀愛は結婚せざる間柄にも成り立ち得べきものであると同時に、また一たび戀愛によりて結婚せる者は、戀愛が消滅せりとの理由を以て、離婚すべきものでないと思ひます。(勿論、離婚を絕對に禁ずべしとするのではないことはいふまでもありません。結婚を成立せしむる事情が存在せぬやうになつた場合には、離婚は許さるゝこともありませうが、唯單に戀愛が無くなつたからといふ理由によつては許されぬことゝ思ひます)。戀愛はその性質上消滅し得べきものでないからであります。是等のことにつきては今は詳說を略しますが、なほ一言申上げて見たいと思ひますのは、戀愛の人生に於ける意義に結びつけてゞあります。

結婚は戀愛の墓か

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

『結婚は戀愛の墓なり』とは、よくいはるゝことであります。此事につきては厨川氏も辯解せられたる通り

『結婚によりて物的基礎が確立すると共に、愛の内容はこゝに再び進化し轉化して、複雜性を増し、更に一新境を開拓する。即ち最初の戀愛は、やがて夫婦間の相互扶助の精神となり、至高至大の情誼と變じ、更に進んで親としての兒女に對する愛情に向つても轉化して行く。更に進化と共に此の如き廣き愛の精神が擴大せられるに及んで、家族より更に隣人に及ぼし、おのが民族の全部に及び、社會に及び、世界人類に及ぶとき、吾々人間の完全なる道德生活は茲に成る。愛のない所に道德はない。』

と申すべきでありまして、即ち結婚によりて、戀愛は生長し、發育し進化する筈でありますが、併しながら人間は肉體精神を離れて存すること能はず、從つてまた種々の執着に囚はれるものでありまして、結婚生活も理想想的に進み行くこと能はざるを常といたします。然かのみならず、我執は知らず識らずの間に賦彩影響して、偏狹固陋を當然と思ふに至らしむるものであります。

抑も戀愛は愛の一樣式でありまして、ほかの愛と同じ樣に、一切他と一體たるの事實を顯彰せんことを究竟の要求といたしてをるものであります。然るにそれが結婚生活に伴ふ種々なる執着によりて局限せられ、固陋なるものになつてまゐりますと、戀愛はその根本の養源を杜絕せらるゝに至りますわけで、戀愛それ自身も萎靡沮喪、遂には窒息死をなすに至るものであります。結婚生活が往々戀愛の墓となるに至るのは此の如き意味に於てゞあると思ひます。即ち結婚した後、相思の情に於て別に變つた所があるやうに思はなくとも、肚裡何となく無限の空虛を感じ、陰影の如き懊悶が胸底深きところにたゞようてをる。たゞ僅かに肉交の蠱惑によりて一時の憂悶を忘れ、或は子女の教育に餘儀なき望みを繋ぎて自ら慰めんとするが如きことが、結婚生活に起り來りまするのは、畢竟するに、結婚生活に伴ふ執着によりて、人心至切の要求たる愛の生命が杜絕せられたからでありまして、戀愛はその生命を失つた軀殼に過ぎぬものとなつたのであります。宗教史に於て妻帶を禁じ、又は獨身生活を重んぜらるゝ傾向が現はれてまゐりまするその理由は一にして足

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

りますまいが、此の結婚生活に伴ふ弊害によつて、宗教の究竟の目的たる萬有一體感の達成と具現とに累を及ぼすに至ることも、重なる理由の一つであると思ひます。

然らば結婚生活は如何にしたらばよろしいものであるか。

戀愛の聖化

結婚式は我國に於ては、古來自宅神前に於て擧行せられましたが、基督教會の儀式にならひて、太神宮にて行はるゝやうにもなりましたが、また佛教に於ても佛前の婚禮といふことが漸々行はるゝやうになつてまゐつたやうであります。その發生上の目的は何れにありましても、その理想的意義は、之を以て戀愛を淨化し、結婚生活を淨化せんとするにあるべきであらうと思ひます。即ち結婚式擧行の當時に於て、戀愛の具體化に伴ふべき執着の弊より淨められんことを祈願し、且つ此のために相互に努力扶助せんことを心に誓ふのにあるべきであると思ひます。

更に要約して申しますれば、異性美によりて體驗せる自他一體感を、夫婦生活の中に具體化し、互に相扶助し、その靈的體驗を淨くし、高くし、深くしつゝ、一切他と一體たる體驗を啓發し、その具現化に努力することであります。即ち夫婦一體となりて愛の具體的顯彰に勵み合ふことである。所謂る天籟を琴瑟相和の妙音に調べ出で、以て人間至心の切望たる天國淨土開顯の基礎石を据えつくることであると思ふのであります。

× × × × × ×

私はまた上述の趣旨を具體的に表象せんが爲に、古より行はれ來りたる諸種の儀式をも參考して『一燈園同人結婚式案』を作りました。昨年大塚兄と飯島姉との結婚に始めて用ゐて頂き、その後、奥田家の婚儀にても、多少の修正を施して用ゐられ、引きつゞき園內諸兄姉の場合にも用ゐて下さつたさうであります。現今一般に行はれつゝある結婚式は何等かの改造を要すと認めらるゝ折から、何等かの參考になるべ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ければとの御勸めもありましたので、此度の皇室の御慶事に因みて、左に揭げさせて頂くことになりました。御批正たまはりたう存じます。

一燈園同人結婚式

式場裝飾

一、掛軸。若くは置物。　理想表象又はめでたきものを床の間にかざる。

二、挿花。若くは盆栽。　一對。

三、燭臺。一臺、床の間の中央に一段高く、蠟燭を立て、火を點ぜず、マッチを附近に備ふ。

四、香爐、香盒。適宜の處に供ふ。場合によりて省くも可なり。

五、瓶子。一對。清酒若くは然るべき飲料を容れ置く。口には蝶花形なとを用ゐるも可。

六、盃。一個として、成るべく臺に載せおくこと。

七、三寶。若くは盃。瓶子及び盃をのせて、床の中央、燭臺の前に置く。

八、小机。若くは卓。圖の如き位地に置く。

親類朋友等臨場の座席

○司式者、媒夫、新郎、媒婦、新婦、(其他の臨場者あらば之に次ぐ)の順にて式場に入り、圖の形によりて着座。(媒夫婦は初めは(イ)の席につく)
○司式者、其の定めの席にて、點燈、燒香、祝禱の後、瓶子と盃とを載せたる三寶(盆)を取りて、小机(卓)の上に置く。
○媒夫婦、同時に進みて、小机(卓)の處に至り、一禮し、各瓶子を取り、適度に淸酒(其他の飲料)を同時に盃に注ぎ、瓶子を置きて一禮して退き、各新郎新婦の次座(ロ)に着く。
○司式者、その三寶(盆)を其儘取り上げ、再び床の間の原位に置き、祝禱、盃(臺と共に)だけを取りて再び小机(卓)の上に置く、之を見て
○新郎新婦、同時に進み出でゝ、小机(卓)前に至りて一禮。
○司式者、盃を取りて新郎に與ふ。
○新郎、禮して之を受け、半ばを飲み、其盃を司式者に渡す。
○司式者、その盃を新婦に與ふ。
○新婦、禮して之を受けて飲み、その盃を司式者に渡す。
○司式者、盃を持ちて起つ、新郎新婦共に一禮して、其儘床の間に向ひて座(立)す。
○司式者、盃を瓶子の側に納め、床の間に向ひて其席につきて一禮、默禱。
○司式者の發聲によりて懺悔文、維摩偈、四弘誓願(一反)及び總回向文(然るべきもの)を臨場者一同合唱。(祝歌合唱等あるも可)
○司式者、燈火をしめして、式終る。
○司式者、新夫婦、媒夫婦、次ぎに臨席者の順にて退場。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

其式場若くは別席に於て、茶話會又は會食、饗宴あるべし。
此席に於て、司式者若くは媒酌人より新夫婦を紹介し、又祝詞訓辭等を述ぶるも可。

新夫婦托鉢

結婚當日又は翌日、新夫婦は共に出でゝ同じき托鉢をなす。一時間にても一日にても、乃至一週間にても適宜に之を行ふ。

備考

○式の時の服裝は、禮服にても托鉢衣にても可なり。
○新婦は髪をおさげとして一ヶ所を元結にて束ぬるを便とす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

恩愛に叛きゆくもの

松下吉衛

N。E子をおかへしください。今日は、私、どうしても連れて歸ります。

S。E子さんは、こゝには居られません。

N。どこへかくしてお置きになるのです？ 昨日も一昨日も、うかゞつたのですが、おるすでして、前のおかみさんにお尋ねしても、いつお歸りだかわからないと申されますし、そのまゝもどつたのでございます。今日は、どうしてもE子を連れて歸ります。

S。さうでしたか。むだ足をおかけして申譯ありませんでした。始終、るすがちで、一度出ますと、それからそれへ回ることになりますので、何時もどれるか自分にも豫定がつかないのです。遠いところから不意にお出でくださつた方などには、ずゐぶん、ご迷惑をかけることがございます。

N。E子はどこに居るのです？

S。E子さんのことは、別にかくして置くの何のといふわけではありませんが、ご本人の希望に任せて、今あるところに托鉢してもらつて居ます。あちらでは大へん喜ばれて居なさるやうです。この間も、そこの方がわざ〳〵私どもへまでお訪ねくださつて、いろ〳〵禮ごとを述べて行かれました。

N。それはどこです？ E子はどんなことをして居るのです？

S。E子さんが、しばらく、誰にも話してくれるなとのことですから、申上げてよいやらわるいやら判斷に苦しみますが、實は、この六月からずうつと××托兒所に働いてもらつてゐるのです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

N。まあ！

S。初めて私のところへいらつした折の話に、――多分あなたからでしたか――昨年肋膜をわづらつてお體がまだほんとうてないとのことでしたから、見かけよりは、ずつと骨の折れる托兒所の仕事は、少し無理てはないかと存じましたのですが、自分の本願なのだから、たつて行かしてもらひたいとおつしあるのてとう／＼おいてを願ふやうになりましたのてす。それても、氣づかひになるものてすから、初めのうち、一週間目ぐらゐにはたづねしい／＼しました。ところが、驚くことには、おあひする度に、健康がめき／＼恢復なさつて、この頃ては、顏色といひ肉附といひ、見違へるほどになられました。

N。まあ、さうてございましたか？ 親達の方から、あなたやE子あてに手紙をお出しゝても、要領を得たご返事がございませんてしたさうてすね。親達は、ひどい邪推までまはして、極端なことまで考へて居るのてございます。前借して娘を遣したわけてはなし、親がかへしてほしいといふのに、かへさんといふ法があるか、といつて、私にまて喰つてかゝります。實は、それて、私も、少々昂奮してまゐりましたのてす。

S。ご心配をおかけしたことは、ほんとにすまなく思ひますが、お手紙のたびにE子さんといろ／＼相談もし、將來のことも熟考して見て、あゝご返事する外、申上げやうがなかつたのでした。あゝした家庭へこのまゝ歸つて行かれても、今更、仕方はなし、世間なみの孝行心を出して結婚することは、如何に何ても出來ませんてせう。それは理窟からいへば、托鉢の立場で親に仕へられないことはない筈てすが、お互に弱い人間てすから、環境には直ぐ支配されてしまつて、いのりも何もなくなるのが普通のやうてす。E子さんはこの點を大へん憂へてゐられます。E子さんが女中方の手傳てもすると、お母さんのご機嫌が、もう、よくないのださうてすね。生れて二十年あまりにもなる寄生々活の罪のなしくづしが、この道なら出來さうだといつて、悦ばれてゐられるのを、私として、それてもお歸りなさいとは、申されませんのてす。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

N。E子には、最近、結婚問題が起りましたので、親達は急にさわぎ出したのでございませう。

S。親御さんとすれば、それは、ご尤なことです。年頃の娘さんをひとり放してお置きになることは、ずゐぶん、心がゝりでもあり、それに、とりわけ、私共の生活といふのは、親しく經驗なさらない方には、いかにもあぶなげで放浪的にさへ見えませうから、こんな仲間といつまでも一所にくらさせるなどいふことは、思ひも寄らぬ話にちがひありますまい。今だから申しますが、最初、あなたがE子さんをお連れになつた時、よく親御さんがご承諾なさつたと、不思議に感じたくらゐでした。やはり、ほんとうの理解ではなかつたのですね。しかし、E子さんは豫想以上に伸びていかれてゐます。あなたの前ですが、いかにナイーヴといつて、あんなナイーヴな性格を、私は外には存じません。

N。あれは末子でして、私とは年もちがひ、實家で一所に居りました時分には、まだほんの子供でしたから、どんな子か、よくはわかりませんですが、學校の成績は角筈を卒業で業る時も、さうわるいことはなかつたやうでございます、體は少しきやしやでしたけれど。

S。あゝいふ家庭にお育ちなさつたので、世間をあまりご存知ないと思ひまして、あちこちと一通りはご案内もし、一所に托鉢もいたしました。トンネル長屋だの、××館だの、××托兒所だの、療養所だの、××ホームだの、××養老院だの、××慰廢園だの、又、ソシアリストのグループへだの、それから六區のやうなところへも。

N。まあ、そんなところにまでおつれくださつたのでございますか？

S。私は、あるがまゝに世相を知つてもらふことが、その人に本務の自覺を促がす上に、なくて叶はぬ條件だと信じてゐますので、まぢめな求道者には、知見を擴めることをお勸めするのが常になつてゐます。E子さんは大層およろこびでした。人間の生活てものが、初めて、いくらか、わかりかけてきたやうな氣がするなどおつしあつてでした。ご自身の罪ほろぼしの意味を含めて、生涯、乏しすぎる人々や廢者のため

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

に仕へたいといふ願を、はつきりお立てになつた有力な動機の一は、この見學にあつたやうです。

N。E子はそれで托兒所へまゐるやうになつたのでございますね。

S。さうのやうです。

N。私は、しばらくの間の修養のつもりで、連れてまゐつたのでしたが。E子は、それでは、いつになつても歸りますまいかしら？

S。よく〳〵思ひつめなさつた結果と見えます。決心は可なり堅固のやうです。さもなければ、あゝいふ務めぶりは出來ませんもの。

N。結婚のことはいかゞでせう？

S。さあ、問題にならないかも知れません。

N。ほんとうに。そんなになつてしまつたのでございませうか？

S。一體、結婚て、さう事務的にさせられなければならぬ筈のものではないと思はれますが……

N。むづかしい理窟は、私などさつぱりわかりませんけれど、親の役とか申しまして、どこの年寄にしてもこれには、さわぐやうございますね。

S。結婚して、より多くの生活價値が見出だされるとばかりは、限られないのでせうに。

N。それはさうでございますとも。

S。男でも無論さうだと思ひますが、婦人は、とりわけ、結婚によつて、決定的な影響を、生涯、蒙りませうから、輕々には出來ないわけです。結婚して悔がなかつたといふ實例を、私の知つてゐる範圍では、きはめて稀にしか見て居りません。家庭が人間のたましひを殺す牢獄となつて居るなら、祈りに祈りきつて向きかれない場合、無人情になつて、けつて出ることも許されなければなりますまい。

N。――

S。二つなき生命ですから、生命は愛惜しませんでは……我がまゝからでは、むろん、なりませんが……
……安んじて生命をかけられる仕事を見出だして、一日一日の生活が充實しきつて居るやうでなければ、生れがひがないと思ひます、とりわけ、今は問題だらけの世の中ですし。

N。――

S。E子さんにしても、折角、自分の仕事に氣附いて、あんなに緊張してゐらつしあるのに、どんな良縁か存じませんが、今、無理やりに結婚させなさるとして、それがほんとうに御本人のためかどうか、ずゐぶん疑はれもします。

N。まじめに考へますと、結婚は、全く、問題でございますね。他人(ひと)には、さうお勸めしたかない氣がいたします。

S。一つの使命を感じて居る者が、それを果たす上に役立つといふ望みなしに結婚することは、罪惡でさへあり得るでせう。

N。さうでございませうね……私なども、どちらかといへば、不用意に結婚いたしましたので……

S。不用意といへば、御同様の方が多いのでせう。一時のパッションや弱さに誤られては、人類に對してすまないわけですが、中々、無難にきりぬけられないものですね。

N。失禮ですが、あなたのご家族は?

S。あるにはありますが、さあ、どう申したらいゝでせう?……現在、たゞかうして居るのが、私の生活のすべてなのです。妻は、ついて來られません、妻にしては無理のないことで、私はそれを少しも咎めようなどとは思つて居りませんが。

N。どうしてついてゐらつしあれないのでせう?

S。妻は、妻の生家に居て、母親の世話、子供の世話、一家のきりもりなどで、起きるから寢るまで働きと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

私ほしでして、自分にはこれで荷が澤山すぎるくらゐであるから、奉仕も懺悔もいらないといふのです、には何とも言はれません。はなれて居て、子供を見てやれないことや、母親に仕へられないことが、一番、胸をさします。人類に對して罪つくりをしてゐるとさへ思はせられることがあります。

N。子供つて、ほんとうに可愛いものですね。私など、まるつきり、子供のために生活してゐるやうなものでございませうよ。知らない間に主婦になり、いつかまた母になり、引きずられるやうにして今日までくらしてまゐりましたので、何一つ仕事らしい仕事もせず、生きがひなど感じたこともございませんが、子供だけが氣がかりで、子供のためとなると、不思議に力が出てまゐります。

S。あなたも、ずゐぶん、子煩惱と見えますね。子供のことでは、私も可なり考へさせられます。この間も、ある家で、石童丸のレコードをきかされて、あの『十歳にあまる修行にて』生者必滅會者定離、本來空の理を悟りながらも恩愛の、情には脆きものなるか』つていふところで、思はず、ほろりとしましたら、センテイメンタルだつて、笑はれましたが、實は、明け暮れぶつかつてゐる自分自身の問題なものですから、ぐつときたのです。

N。さうでございませうとも。

S。しかし、私には、やはり、かうしてゐる方がほんとうだと思つてゐます。子供と一所に家てねおきしましても、何だか落付けません、居る筈でないところに置かれてゐるやうな氣がしてならないのです。E子さんにも見ていたゞきましだが、猿江裏や三河島などにしても、乏しすぎる人達は、また、極端でして、四疊半一間に六人から住まつてゐる家などもありますし、赤子のおしめにしてもわづかに、戸袋のところへ荒繩を張つて乾すといふ始末ですもの、私など、何といつても、惠まれすぎてゐます。

N。さうした貧窮は、心柄からではございませんでせうか?

S。或はさうかも知れません、が、原因は、恐らく、單純ではさりますまい、しかし、あの光景をまのあた

りにしますと、とにかく、放つては置かれなくなります。獨り立ちが出來ない人達なのですから。……この邊の入にしても、やはりさうですが、生活は、まるで、むちやですもの。經濟觀念が殆んど缺如してゐるとしか思はれないやうなことばかりやつて居ります。或は、これは、先天的の缺陷かも知れません。かういふ人達に對する社會の取扱が、また、問題です。この頃のやうな狀態ですと、仕事がなか〳〵見つかりませんので、ごろ〳〵してゐるあぶれ者がふえてまゐります。働かうにも仕事がないといふのですから一番困ります。仕事といひましても、大へんな技術を要するものとか、腦力を使ふものは、むろん、出來る筈がありません、まあ、掃除夫、片附、撒水夫などが主で、稀には小資本を工面して、子供相手の食氣屋を出すとか、露店を張るとかする者があるくらゐなものです。收入は、一日にならしたら、さうですね……やつと七十錢くらゐなものでせうか？　內職も、あんまりばかげた値ですから、おかみさん達がやる氣になれないのでせう、袋貼りや煙管入れの長門編みにしても、一日働いて二十錢內外では、はりあひがありますまい。それでゐて、一番高いものを買はせられてゐるのが、この人達なのですから、全くみぢめです。澤庵を買へばとて、一本丸きり持つて行くものは極稀で有產者が一度に幾樽も卸値で買入れたり自家製造したりするのに比ぶれば、それはどんなに割が惡いくらしをさせられてゐるか知れません。『かせぐに追ひつく貧乏なし』といふことは、眞理にはちがひありますまいが、この人達には、條件づきでなければ適用しにくいやうです。

N。そんななんでございますか？

S。この家へは、よく寄つてまゐりますが、また、この界隈の子供達ですね、ほんとに、かあいさうで見て居られません。たべもの、きものゝことなどは申しますまい。せめて　自由にかけまはれる場所と臭のしない空氣ぐらゐは、あてがつてやりたく思ひます、この家の前の露路――幅一間あるかなしの、おまけに、蓋すらついてないどぶの通つて居るところが、小さいものゝ唯一の遊園なのですから……。申上げるま

てもなく、子供には、遊びが生活になつてゐます。遊ぶことで育つのですから、始終、何かしらして遊ばずにはゐられません。こゝの子供達に何して遊べませう？　親達にたまには、買つて貰へる店賣の玩具もありますが皆出來がきやしやで子供の要求にきいて考案されたやうな物は殆んどないといつてもいゝでせう。子供達が手にすれば一時間とたつかたゝぬにこはしてしまひます。何も遊び道具がありませんから棒切れて泥をかき回すとか井戸へかゝるとかその邊を譯もなく怒鳴り歩きたゝき回るとか、つひ、喧嘩もふえ、體のよくない子などはたゞぼんやり立つてゐるといふことになるのです。ですからたゞいたづらするなといつてもそれは無理でもあるしまた止まりもしはしませんでせう。それに困るのは母親が保育上の知識を殆んど缺いてゐるために、ひよつとした病氣によく子供を死なすことです。死なさないまでも生涯の病ひ持ち片輪者にすることは珍しくありません。勞働者の子供は丈夫だからほうりつぱなしにして置いても、めつたに病氣しないなどゝいふ方がよくゐりますが、何が病氣しないものですか？　病氣してない子がめつたにゐないといつた方が事實に近いでせう。生き殘つてゐる子は餘程丈夫な性のものだけなのです。肉附のいゝやうに見える子など調べて見ると濕疹のために腎臟を侵されて水腫を來たしてゐるとしか思はれぬやうなのがまゝあります。おできの子は實に多いです。ひつ、くさ、たむし、しらくも、何でもありますが、遺傳性梅毒はひどすぎます。おできをなほすと內攻するといふ間違つた考が一般にあゝますので、——これはむちやな醫師が强烈な刺戟性の膏藥などを考へなしに使つたりしてほんとうに內放させることがあるさうですから一概に責められませんが、何とかしなければ子供がかあいさうです。とりわけ、梅雨の時分にはジメ〳〵してゐるし、また汗もかきがちなものですから、少しのおできも、すぐ擴がるんて困ります。私のところへも、かいておくれの、うみをふけのといつて訴へてくる子がありますが、へたに膏藥をぬつてやるわけにも行かず弱らせられることがあります。

N。ほんとうに大へんでございますね。

S。托兒所がほしくなります。…………このまゝでは、あんまりひどすぎますから。苦忍しながらも、子供と離れて私にかうして居られますのは、一つは、こゝの小さい者達がこんなだからです。

N。おはづかしい話ですが、さう澤山でもない自分の子供の世話だけに、私の日々は過ごされて居るやうな始末でございます。その世話のしぶりも、後から考へますと、子供の本性を傷つけはしなかつたかと疑はれることさへないではありません。子供のことだけでも、始終、苦勞をさせられまして困つてしまひます。

S。何が子供の本性であるかを知らないでは、敎へるとか導くとかいふことは出來ない筈でせうから、一生懸命、子供のためをはかるつもりで、實は、子供の大切なものを害つてゐるのに氣づかない敎師や兩親が少なくないやうですね。

N。それを考へますと恐ろしくなります。どうしたらよろしいのでございませう？

S。本性を知るといふことですか？　實際むづかしいことで、私共のやうな凡愚には、どんなに勵んでも、或はなし得ないことではないかと思はれるくらゐです。行きかたはいろ〳〵ありませうが、結局、我執がとれゝば、靈眼が開けて、如實に本性を觀られるのだと、私は信じてゐます。親として子供を愛して居ると思はないものは恐らくありますまいが、我執から出てゐる可愛がりかたをして居るとすれば、それは、愛着であつても、ほんとうの意味の愛とはいはれませんでせう。

N。さうおつしあられますと、私などのは、全く愛着なのかも知れません、子供のためと思ひ誤つて、實は自分の醜い色々の慾望の滿足をはかつてゐたやうな氣もいたします。

S。それです。私もそれで戸迷つてしまつたのです。私のは、子供についてのことばかりではありませんでしたが、相當思慮もこらし、むろん、善意をもつてやつたことが、往々、相手方に惱みを與へ、思ひもよらぬ惡影響を及ぼしたりしますので、これはどうしたわけかと疑をもちはじめ、社會的に活動すればする程、さういふ經驗が度かさなるにつれて、省みてやましくないぐらゐでは、到底、落ち付いてやつていけな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

くなつたのです。それから、あつちへぶつかり、こつちへつきあたり、いゝかげん、いぢめられた後で
ある先覺のお導きを、ふとした縁から、お受けすることになつて、こんな生活が創められたわけです。
N。私には、今、急に、家を出て、かういふところにまゐるといふわけには、とても、行きませんですが、
何か適當な修行の方法はございませんでせうか？
S。さうですね。禪をなさるとか、靜坐の會におはいりになるとは、すぐれた方の說敎を聽かれるとか、聖書を研究なさるとか、みな、それぐ\に、いゝ方法だと思ひますけれど、生活問題が整理されて居りませんと、實際に處して、どうも、まごつき易いやうです。例へば、禪にしてみてからが、淸規にかなつた生活をぬきにしたのでは、公案が幾つ通つても、比較的無難な趣味ほどのものに墮してしまひはしますまいか？それで、祖師達は、どの宗派にしても、淨財に食むといふことを、嚴しく敎へ、また自身に行せられたのだと思ひます。
N。正直なところ、私のやうなものは、どうして食べていかうかといふやうな、急迫した實際問題の經驗をなめて居りませんから、考へ方が微温的なのでございませうね。
S。さういふ傾向は、失禮ですが、あなた方に共通した根本的病弊だと思ひます。しかし、E子さんのやうな例もないではありませんから。E子さんは、それは、徹したものです。默つて居られますが、肝腎な所はしつかり握つて、婦人にありがちな、情實のためにつひ妥協させられるといふところが少しもありません。この點では、世なれて可なりづるくなつて居る私達の方が寧ろいろ／\學ばせられます。
N。E子は、生涯、この生活を續ける決心でございませうか？
S。直接うかゞつて見たこともありませんですが、先程申した通り、今は一行にすみ切つて居られますから、ほかへお向きにならうとは思はれません。全く、E子さんは、托兒所のために授けられたやうな方です。托兒所の建物は、何とか金の工面さへつければ、急に幾つかをふやすことも、困難ではないでせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

が、子供の本性に培ふ心得のある保姆一人を見出すことは、こくら金を積んでも出來ません。私のご懇意申してゐる托兒所の經營者が皆こまりぬいてゐるのは、この保姆の問題です。つひ、先頃中のこと、ある婦人がKにある××××會の托兒所に子供を預かつてもらひにまゐりましたところ。取扱があんまり極端なので、いくら苦しくつても、あゝいふところへは一日も自分の子供を置いとけないといつて、連れ歸つたといふ話を聞かされましたが、保育といふ職務は、あたりまへの學校敎師氣分では、とてもやつて行けるものではありません。知らない方から見ると、たゞ子供と遊んでゐて如何にも呑氣さうに思はれますが、仕事は實にたまらないほどえらいんですから。

N。よくE子がやつてくれてますこと。

S。E子さんの家庭の事情はよくも存じませんが、もしあなたに外護していたゞけますなら、E子さんばかりの仕合せではなからうと思ひます。

N。Sも出來るだけのことはいたしませう。

S。どうぞ、お願ひします。

N。事情がかうわかつて見れば、E子をつれてまゐつた私の責任でもありますから。

S。親の威光であまり強制的に働きかけなどなさると、反つて、哀しいことが起りはしないかと心配されます。

N。ほんとうでございますね。…………

S。時間がおゆるしなら、E子さんのところへご案内いたしませうか?

N さうでざざいますね。又、出直すといふのもなんですから、さうお願ひ申しませうか、でも、お忙しいのにご迷惑すぎはしませんかしら?

S。いゝえ、では、すぐ、お供いたしませう。

N。恐れ入ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

省察と直視と

GM生

私のかたくなゝ心は遂に周圍に見出してゐた人達を一人失ひ二人失ひして此頃は唯一人を貧しく生きてゐます。

信仰に就いても人生觀に就いても激しい變りかたをしてゐるてあらうと想ひます。根本のものに就いては不動だと思つてはゐますがその看かたなり感じかたに自分ながら變化の激しさをしみじみ感じます。

信じてゐたと想つてゐた事は凡て思ひ上つてゐた事でした。思ひ上るところに自分のはからひが出てゐました。改めて私自身を看つめずにはゐられませんでした。

私は私の周圍に見出した人達を愛してゐると思つてゐました。信じきつてゐると思つてゐました。けれども私の愛の足りなさ不信の故に次から次へと離れねばなりませんでした。私は私が信じ得られなくなりました。愛してゐると思ひ信じてゐると思つて

致ても明日は裏切りを見せずにはゐられませんでした。かうして私は一瞬後の私がどう變るか私自身信ずる事が出來なくなりました。自分自身をすら愛する事の出來ぬ私だ信ずる事の出來ぬ私だ、かう思つて私は私自身に跪まずかずにはゐられませんでした、こんな私をも温かう抱かうとして下すつた人達に涙の底からお詫びせずにはゐられませんでした、自身を許すこゝろに自身を正しいと看、自身を胡魔化すために喜しと感じ、自身の醜さを妥協する處に信仰の美はしい着物を着てゐた事に氣づかずにはゐられませんでした。

自分の生活は正しい生活だ、こう思ひなすところに私は私のはからひを生んでゐました、愛する事も出來ず信ずることも出來ずとてもの事に救はれる事のないしかも許されることのない者の生き道だ、かう思ふところに謙虚な心持が生れて參りました、懺悔は他に對して持つべきでなく先づ自分自身に對して持つべきであると考させられました、さうして念々の懺悔は念々の創造であることを體感致しました。とつくに通り越してゐると思つてゐる事が實際

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の體感體驗は此頃になつて漸くこゝまで漕ぎつける程貧しい歩みぶりです。

『主よ主よと呼ぶ者かならずしも天國に入るを得ず』キリストのこの言葉のまことが感ぜられるやうにも思ひます。どんなに自分が信ぜられなくても此宇宙から一歩も出る事の出來ない事も『二羽一錢で賣られる雀も決して神の意志なくしては落ちる事がない』と云ふ事をも信ぜずにはゐられません。さうしてゐて一筋に信じきる事の出來ぬ私です。

悟りきる事の出來ない信じ得ないものにこそほんとうに信仰が必要なのではないかと思ひます。弱いもの罪深いものなればこそ救ひがいるのでは無いかと思はれます。私自身に照らし合はせて信仰は懷疑に咲く花、宗敎は惡に咲く花では無いかと思つて居ます。佛敎が蓮華を象徵としてゐるところに深い意味が味はれます。唯一人に住んで私はこんな事をうたつてもみました。

ひとりある事の尊さ、みつむる事の深さよ、悲
しみに地をうるほせ、暗にこそ光を

孤獨を孤獨をと一人に潜んでゐるとき程、友を求めるこゝろの強く働らく事はありません。一人である時程、靈は溫かさをうるほひを求めて居ます。此頃になつて一生をワルゼンの森に孤獨て終つたソローが三つの椅子を用意して居た心持が解るやうな氣がします。

信仰に這入つて居るとして居るものが存外少さな信仰の殼に閉じこもつて安逸な眠りを催して居る事があります。『いゝ眺めだ』『涼しい景色だ』と法悅にひたつて居る人達があります。さうして其等の人達に限つて世を救ふと云ひます。これなら大丈夫きつと救へるとね。私は社會苦をまつこうから受けて信じてゐるとも悟つたとも何んとも考へずに唯その苦しみから脫しやう、悶いて居る云はゞ無智な民衆こそほんとうに『時代の十字架』(言葉の意味に說明を要するかも知れませんが)を脊負つて來るべき時代への洗禮を受けてゐるのでは無いだらうかと考へてゐます。來るべき時代は信仰の法悅に醉つた少數の人達によつて救はれるものでは無く民衆によつて多數によつて導びかれて行くものだと信じます。救ふと云ふべくんば彼等自身の手で彼等自身を救ふと云

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふべきだと信じます。時代は少數者から多數者へいま解放の途上にあります、かつて成されたやうに一人の天才の手に依つて導びき出される時代ではありません、政治にしても文藝にしても財物にしても眞理と云ふが如きものすら少數者から多數者へと時代は流れてゐます。

私は奉仕だとか托鉢だとかを表示するのでなく一個の人間として民衆の苦しみを苦しみとしてともに時代の流れに、さして行きたいと思つてゐます、型つかひの托鉢には責任がともなひません、馘首のおそれがありません、日々の仕事が轉々して行きます故に日々新たな興味をもつて旅行者の眼に映ずる景色のやうに變つた景色を樂しんで行けます、ほんとうに尊い無我の愛をたゝへた、それこそ選ばれた人はともかくとして、私はそれを落ちつきだとする事が出來ません。

苦しみを頒ち合ひ執り合つた手の溫みに私は神の存在を認めて行き度いと思ひます、人間は倒底人間です神であり得ません、惱みが人間のものであるなら惱んで行きます、涙でのみ人と人とが慰め合へるものなら泣いて行きます、人間同志の結び合ひが民衆の力となつて何を要求するか要求のまゝに歩み度いと思ひます、新らしい時代の宗教は民衆によつて打ちたてられなければなりません、民衆の聲を聞いて民衆のなかゝら生れ出るべきだと存じます、私は私の心にどんな粉飾を加へる事なく作爲する事なくそのまゝに泌ませて行きたいと思ひます、……過つた治療法で（かつては最上のものであつたかも知れない）愛妻を殺してその死を嚴肅に眺めて死んでも生きるとして居られる聖者はあまりに尊とすぎて或は石で造られてゐるのかなどと自身石で造られてない事を感謝してゐました、つまり民衆運動の實際にふれもせず眞實な叫びを聞かずして民衆運動が取扱はれてゐることを知つたわけです……日本の外務省の囑官に十數年監獄生活をしてゐる人があるさうです、囚人の心理研究に沒頭してゐると云ふ事です。典獄と打合はせて完全に既決囚を裝つても未決へ這入つても囚人の心理は解ちないさうです、何故なら『自分には罪の意識が無いから』其人は云つゐるさうです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

資本家を通じての工場への托鉢は無意味なやうに思はれます、之れよりも少さいながらに社會苦から解脱した社會を建設する新らしい生活を樹立すべきが意義のある事てないかと思はれます、さうして創始された生活によつて樹立された規範によつて明快に『社會問題はどうするか』に答へるのが體驗を先にする宗教家の態度ては無からうかと存じます、……………三條青年會館て演ぜられた勞働者と警官の衝突の凄慘な情況を描き出して、眞に要求に驅られてゐる民衆とむしろ救濟しやうとする人達との距離の相違をまざ〳〵と感じました、現實の動きを他にして勞働者の叫びに耳を藉さずして社會問題勞働問題を練るとしたら何んなものが出來上るでせう、…『目先のものをめがけてゐるのでは無い、先の先の大きなものを目當てに進んてゐるのだ』と言はれる方があるかも知れませんが最近の社會運動が物質だけをねらつてゐるのだと見てゐられるからかうしたお伽ばなしが描いてゐられるのぢやないかと思ひます。……現實はお伽ばなしではありません、それ以上でも無ければそれ以下でもありません、在るがまゝてす、正直です、作爲がありません、決して〳〵『先の大きなもの』などゝは言ひません、それてゐて『先の大きなもの』を抱括してゐます、川と海との關係を見るがいゝと思ひます。

あれから歸つてすぐ筆を執つたのですが夜がすつかり明け放れました、睡けが催したりして頭が亂れましたのでずゐぶん纏りのつかないものになつたと存じます。御免下さいまし、さやうなら。

○本號の表紙題字は弘法大師御自筆所謂三教指歸(高野秘藏)中山よりいたゞくことゝせり。三教指歸は延暦年中、大師齡僅かに十八、その名を佐伯眞魚といひて未だ得度せられず大學に遊ばれし頃、感奮する所ありてものせられたる論文なり、而して延暦十六年、更に之を再治して自から淨寫せられたるものが此の卷なりといへば、大師得度後四年、即ち二十四歳の時の御筆なり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ある日の托鉢

無水道人

ことし五十、いたづらに生きて來て時には商となり吏となり、鹽辛い人の世の苦も甞めあきました。不惑の歳に愛妻を亡くし、續いて二兒に先き立たれました。幼なき一女玲子を携へて放浪幾年その女、學校に入るを機會に、親戚や友人には氣まぐれと云はれながらも、衣を染め髮を削つて山寺に入つたのは三年の昔となります。僧といふも名のみで嘘いふこと丶經讀むことの出來ぬのを釋迦牟尼佛は叱り賜はぬにせよ、それでは檀家といふもの丶納れる筈もなく我から寺を捨て丶旅から旅と萍の身をつゞけてゐました、折りもをり此秋の大震災を機緣に、僧の身をそのま丶一燈園に投じました、澁澤さんは天譴と云はれる震災も、私にとつては天惠である。いま甦りたる生活の日記から

手拭に白髮頭を押しかくし大死一番車挽くなり

ともすれば動かんとするこの心じつと押へてしほる雜巾

默々と墓地掃き居れば何鳥かしきりに鳴いて山茶花の散る

こと每に不平も無くて托鉢の日ごと變るもたのしかりけり

いまだ曾て味はざりし尊さを車曳きゐてしみ〴〵思ふ

桃水の墓に供へし柿のあり夕陽は赤く照らしてゐたり

やうやくに荷造をしてまづよしと車の上に日向ぼこする

樫の實のぼつり〱と音のして芥焚く上に落つるさびしさ

ごみとりに腰うち掛けてややしばし落葉焚く火をながめてゐたり

憤ることのみ知りし日もありしいまはたのしく生くる托鉢

信濃路で

ほの暗き朝の溫泉にゆつたりとひたりつ丶ゐて明くるまちをり

湖を隔てゝ見ゆる富士を近く灯早し下諏訪の町
群山はあたりに暮れて富士の嶺は眞白く高し諏訪
の湖
山遠く白樺の木の光りゐて夕陽の中にのこるもみ
ち葉
汽車走る丘の芒の穂のほけてつめたく吹くも信濃
路の風
明科の驛の夜明けにふり仰くあるぷす高し空澄み
渡る
陽に映ゆる雪のあるぷす高々と蒼天青し大町の街
軒に迫る山の高さよ屹として寒い風吹く池田大町
道廣く家並は低くゝ軒深し山國らしき町に大町
重はこのやうな汽車行く山國の小さき町の夕陽は

さびし
あるぷすは軒端に近く迫りゐて入陽さびしき山國
の町
天龍の磧に寒むき北風の背中むけつゝ道を歩ゆむ
も
漬菜など採りたるあとの背戸の畑雨にさびしも白
き庭鳥
信濃路の高い山高く雪積みて低い山低くゝ煙むる
が如し
屹として雪に輝くあるぷすの裾野廣原我汽車のゆ
く
み佛のつきせぬ縁の深くして參るもうれしこの善
光る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

天香師のメモから

B生抄

『おひかり』のいいくらしは、本來のまゝである
たゞそのまゝをあゆめばよい
それ自體の說明はいらぬ
いや、せぬがよい

このいいくらしから見るときは
此世が前見たそれでない
維摩經にもあるとふり
其心淨ければ佛土も淨い

このいいくらしはまた、大藝術
こわれた世相を天國にかへすために
點や線を畫きなをす
畫き上るなりおもしろい
間違ひだらけや、矛盾の線を

何んぼ派手にひくよりも
小そうても正直に
ひくが何よりかんじんである

このいいくらしのとうとさは、
その人自身も氣づかぬが多い
考へればわからないもの
考へないときよいきもち

あまりに大きい
また、深い
微妙に過ぎて
まばゆいばかり

たゞあゆめ
おのれのことをおもはずに
義務も權利もおひかりに任し
たゞ一行にあゆめばよい

それが懺悔

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

同時に感謝
おのづとそこから報恩の
奉仕となつてあられれる。

君への忠も、親への孝も、
愛も義理もこのうちに、
妙に完成されてある。
とふとひかな『おひかり』のくらし。

小さな藝術はこれからわき出る。
このくらしから見る世相を、
十七文字にならべりや俳、
三十一文字なら歌となる。

長ければ、のりとなり、
みじかくすれば念佛となろう。
歩めば行道、
止まりや打坐。

この腰なくて何舞へようぞ。

この腹なくては歌へない。
競争(かけ)て見よ　また飛んで見よ。
優秀はみなこの力から。

このくらし是大磐石。
義務におはれず　權利は執せず。
要るものはみな『おひかり』任せ
することはさゝげた托鉢。

瓦礫も金となり、
單純なりが大合奏。
手近かで平凡なその事が、
大經綸となつてゐる。

人より先きにはたらいて、
後れてたのしむその事が、
おのづから出來て、
無理がない。

病む人あらばみなしていたわり、

不幸な人を孤獨にせぬ。
老養はれ幼はぐゝまる。
能所不二、自他一體。

こうすりや何の爭ひか起る？
戰爭とは昔しの夢、
訴訟とは何の事かと、
想像するだに骨が折れやう。

都會はあまり大きくならぬが、
田舍は段々にきれいになる
汽車のこみあはぬのは
だめに往き來をせぬからだろう。

たまには昔しの軍艦も
殘つてあれど商用となり
重砲小銃、タンクその他
博物館にかざれるのみ。

落付いた建築

ためのよい身裝り
あつさりとした食事
いき／＼とした人の顔。

ゆつたりさ
また潑溂に
生死をわすれ
解脫を得る。

奉仕の生産
感謝の消費
有無相通、足らぬ人なく
あまるものは預りあひ。

あまりに少くなつた病院
見る事出來ぬ裁判所
大きな公園に
瓜や茄子の花ざかり。

陛下も時々耕やしたまひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

師家は茶園で説法なさる
大臣の夫人が看護婦もなさる
先生の娘も紡績通ひ。

國費は以前の一割にて足り
文化のかゞやきは幾倍かまさる
下らない文學はないが
やくにたつ科學は眼がさめるほど

神學は少ないが神を失はず
求めなくとも佛とともにゐる
おのづから敬虔に
差別と平等が眼かどにたゝぬ。

たまに脱線する人もあれど
愛の道場で休養するうちに
鞭を用いることなくて
おのづから悔いあらためる。

性もと善
本來佛性
一切の事そのまゝが
神のまに／＼佛のわざ。

紫雲たなびき
妙音たへず
言句盡く
しばらく名づけて『おひかり』といふ。

（大正十二、五、二十九）

大正震災の歌（二十五首の内） 福原俊丸

――般若十八空のこゝろを――

火に地震に燒けつゆるぎつ匠人ほこらしけにも築きし家居 （性空）

富人の大き家あらず燒けのこるよき木よき石見る影なしも （自相空）

檻小舍の我天地もくつがへり燒かれ失せにしその獸はや （一切法空）

煩惱の焔に追はれ舟ぬちに尊き生を求りせしものを （不可得空）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一燈園生活問答

まつした

A　あなた方の仲間では、此の間、青山外苑の『子供の家』でクリスマスを祝つたさうですね、一燈園つて佛教團體かと思つてゐましたが。

　佛教系の者が過半か知れませんが、クリスチャンの方も、ずゐぶん、ゐるにはゐます。毎朝食卓で讀ませてもらふものも、修證義であつたり、バイブルであつたりします。

A　變つた團體ですね、それでも何も不都合はおきないかしら、同じ佛教仲間、クリスト教同志ですら、何のかのと問題がありがちなものですが。

B　一燈園生活は、生活が最初に産れたのであつて經典の研究とか教義の解釋とかによつたものではない爲めでせうか、全くそれは問題にならないやうです。尤も、宗派の差別觀の囚はれから脫け出てきたもの、教義の不合理な解釋に堪へられなくなつたもの、又は むづかしい理窟は拔きにして生活を、日常のくらしをほんものにしたいといふ願の方が同人の大部分ではあります。

A　なるほど。それで、あなた方の生活の眼目としてゐる點は？

B　さうですね……言葉が妥當でないかも知れませんが。懺悔の奉仕によつて俗諦を成ずるとでも申しませうか。どうも緊張をかきがちでいけないのですが、罪惡の自覺といふことだけは常に忘れたくないと思つてゐます。

A　懺悔の奉仕といふと、どういふ生活樣式をおとりになつてゐますか？

B　このからだぐるみ、生活ぐるみ捧げることを願としてはゐますが、なか〱我執はとれにくいものでして始終はづかしい思ひをさせられます。

A　生活ぐるみ捧げるといひますと？

B　他の要求にすなほに應じて、生活をあげて沒入していくのです、はたらきに對して報酬を求めることは、いふまでもなく、許されません。懺悔のための奉仕ですから。

A　生きようとする闘爭の、こんなに、烈しい世の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

B　中に、そんなことで能く養はれるものですね。

私共は、無理してまで生きようとしてゐませんが、事實、養はれてきてゐますし、何かかう許されてこんなにしてゐるのだといふやうな感じもされます。

A　それは選ばれた極少數の人についてのみ言ひ得ることではないのですか?

B　さうではないと思ひます、ほん氣でやれば、誰でも、きつと、さういふ實感を味はれると信じます。一概にもいはれますまいが、宗教のことは、考へたのでは、わかつたやうで、どこか、かう、はつきりしないところがあり、わからないなりに目をつぶつて虚しい氣持でやつてみると、存外、了解のいくものではないでせうか?

A　さうかも知れません、イヤ、全くさうでせう。私など研究だをれのやうなことばかりしてきてゐて、何一つ把めないので困つてゐます。……で一燈園にゐる方の日常生活はどういふのです?

B　別に取り立てゝいふほどのこともございませんが、あらまし説明いたしませう。朝は、皆、うす暗い内から起きます。園内外の掃除に三十分位かゝり、それから、當番を導師として靜座と讀經とがあります。これは、小一時間はかゝるやうです。お經といつて別に定まつたものゝあるわけではありませんが、今のところ般若心經、觀音經、維摩經などを讀ませてもらつてゐます。讀經がすむと、その日の作務について、當番は同人達と打合せをしたり、時には感想を話したりします。ご飯は、通常、園ではいたゞかないことになつてゐますが、留守居の者とか作務に疲れて休養に歸つてゐる者だけは、とらせてもらひます。それて、同人は朝御飯から托鉢先で御供養にあづかるのです。させてもらふ仕事は何でも選びません、求められるまゝを、すなほにお受けして、懸命に奉仕します。そして、晝もよばれ晩もよばれ、時にはお湯にまで入れていたゞいて歸園するのです。園の夜は、それは樂しいまどゐです。托鉢の經驗や感想を語り合ふもの、讀書に耽るもの、當番や先輩と修行上の問答を交はすものなどがある一方には、うちくつろいで、お國自慢をし合ふものや、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

腕角力天狗俳句など無邪氣なあそびに興がる若者もございます。何しろ全國各地から種々經驗の異なつた人々が集つて來てゐるので、それはにぎやかでございます。

A　なるほど、一宗一派によらないといふところはおもしろいですね、經驗の異なつた種々な人々と[illegible]いつて、主にどういふ色彩の人が在園してゐるのです？

B　五分通りは、まあ、やはり、宗教家もしくは宗教的思想を持たれた方でせう、次に多いのが藝術家で、教育家が之れに次ぎ、一番少いのが商人肌合ひの人でせうか。

A　宗教家では、どういふ系統の人が多いです？

B　一燈園生活の願が俗諦成就にあるためか、眞宗の方が一番のやうです。不思議なことには法華の方とは、今日までのところ、まだ緣が結ばれてゐません、クリスチアンは勿論、天理教、金光教、大本教からバハイズムのやうなものとまで觸れてをりますのに。

A　そんなに雜多な、或は敵視してゐるとさへ思はれる宗派の人達がゐて、よく纏まつて行けたものですね。

B　前にも一寸申しあげた通り、一燈園といふ特殊な宗派があるわけではないので、クリスチアンはクリストの、眞宗なら親鸞聖人の、天理教ならまたその教祖の方の信仰を、それぞれ、妥協しないで、日々の生活に徹底的に具體化しあへばよろしいのです。祖師開山にまで遡れば、歸一の大願とでもいひませうか、ある通ずるふしが存在するやうに、私共には思はれますが。………

A　なるほど。

B　書きのこされた經典の逐字的解釋や、傳へられ來つた宗風そのまゝの比較では、同じものは一つもないにきまつてゐますが、その眞髓とするところを現代の問題を問題として生活の實際にハッキリ行じていく段になると、不思議に合致してくるものらしいです。

A　法華の方だけとは因緣が薄いといふのは、どういふわけですかね？（次號へつゞく）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

京都一燈園日記

高頭生

十一月二十一日　はれ

東山一帶の紅葉が夕映えに燃え立つ頃となつて來た。長い間、園と宣光社のことについて、種々御心勞を盡して下さつた住田蓮車さんが、今日から暫く法然院へ托鉢にお出でなさることになつたので、午後木暮侶乘さん、增淵幸之助さんがお見送りに行つて下さる、すらつとした上品なお身體に、古の中折帽の頭だけ切取つたものを、無造作にすつぽり被られたお姿が、妙に何時までも忘れられない

二十二日　はれ

夜、天香さん御歸園、離れの六疊横山當番さん、濱村さん、相さん、小暮さん、淡如さん、蓮車さん、增淵さん、野原さん、私の九人をお呼寄せになつていろ〳〵の問題に對してのお話や御質問があつた。信州の長姫一燈園から、久方振りに住山了觀さん御歸園、今度天香さんが信濃路へ御旅行の御日程について師と委しくお打合せの上卽夜御歸國。

二十三日　はれ

神戶の鐘紡へ御托鉢中だつた西川惠隆さん、東條一義さん、小柳今朝一さん御歸園。西川さんは天香さんと御一所に信州から東京へ、他のお二人は直ちに東京へ、いづれも晩の七時頃御出發。

二十四日　あめのちはれ

增淵さん他御一名の方が、神戶へ托鉢にお出でなさる、晝を詐く皎月が大文字山の頂きに澄んで、鹿ケ谷の夜は靜に更けて行く。

二十五日　はれ

濱村愚庵さん、金澤久代さん外一名の御婦人の方が、一昨夜お發ちになつた天香さんのお後を追つて信州路へ托鉢に御立ちなさる。

二十六日　はれ

お隣りの靈鑑寺の紅葉が風もないにホロ〳〵散つて、初冬の哀れを思はせる。當番さんと蓮車さんとが、どんな菩提心を起されてか、揃ひも揃つてツル〳〵の青道心になられ、寒い寒いと無氣味さうに頭を撫でゝ居られる、一つは裏成りの唐茄子の如く、

一つは生乾しの絲瓜の如く、見るから可笑しくつてたまらない。鈴木啓文さん御夫妻、新見波藏さん御來園、中對まさ子さん西の宮から御歸園。

二十七日　はれ

太秦の廣隆寺から御供養の鏡餅でおぜんざいを調ひ、晩のお勤め後同人一同が食堂へ集り。舌鼓を鳴らし乍ら腹一杯に頂戴する。猛者は當番さんを初めとして侶乘さん、淡如さん富田默禪さん。

二十八日　あめ

朝から絹絲のやうな小　が音もなく軒端を濡らしてゐて、小鳥一羽鳴かない、馬鹿に淋しい日だ。法然院から蓮車さん、大學病院から高橋琴枝さんがお遊びにお見えなさつた外に來客もない、信州へお出でなさつた濱村さんと倉澤無水さんとから、御消息をいたゞく。

二十九日　はれ

朝、衣の棚の杉本さんへ漬物桶を返しに行き、一寸お臺所を覗くと、勝淳さんがおいしさうに御飯を召上つてゐる。久しい前から大學院へ御入院中の林文子さんが一寸御歸園。灯ともし頃までせつせとお洗濯やら、お張物やらであたふた御歸院。御退院に間もないとのことである。

三十日　はれ

朝起きて見ると、初雪かと見紛ふほどの霜が降つてゐて、筧の水の音が馬鹿に高い、明日から師走だと泌々思はせられる、中對まさ子さんから大阪へ鉢托に行つていたゞく、

十二月一日　はれ

手足が痛むやうに寒い朝だと思つたら、果然八時頃から小糠のやうな雪がちらついて來る、直ぐに止んで了つたが今年の初雪であつた、夜、相武次郎さん、鈴木啓文さんがお見えになり、大阪から山崎壽さん、南坊城良夫さん、大津峰導さん、東京から内田廣子さん御歸園。

二日　はれ

花園一灯園から小林恭堂さんが一寸御歸園、暫くお目にかゝらなかつた中に、素晴しい體格におなりなされて吃驚する。

三日　あめ

御郷里へ托鉢に行つておられた三上和志さん御歸園、蓮車さん法然院から一泊にお出でなさる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

東京一燈園だより

KM生

在京同人五十名の奉仕の有様は巻頭に當番報告のとほり。

吾等が震災救護に對するいさゝかのいのりをよみされてか、東京府は一月廿二日附左の通り社會事業の經營を吾等に委任して來られた。

委託事業の種類
託兒所及附設隣保事業
簡易勞働者宿泊所

設置位置及箇所數
明治神宮外苑內託兒所一ヶ所
大崎町方面簡易宿泊所一ヶ所

建設經營費豫算內譯
既設託兒所設備改善及六ヶ月分經常費　四、一〇〇圓〇〇
新設簡易宿泊所一ヶ所建築費　二〇五坪　二六、六五〇圓〇〇
同初度調辯費　三、一九八圓八〇
同地代(六ヶ月分)　五四〇圓〇〇
同木材　六一五石

御期待には、キット、そへますぞ。

十二月二十四日、『子供の家』にクリスマス祝禱會あり。來會の童男童女四百名に菓子袋上をげ、子供の家の子達には特におもちやをお分ちした。同人四十名參集天香さん中桐さん生江孝之さん金澤さんなども御出でくださつた。クリスマス・ツリーは立山兄の考案、迦、黑田兩兄主としてデコレーションに當られた。夜は芝居で大賑ひ、連絡座の無言劇や「背後に立てるもの」日比谷座の「憩の宿」猿江裏座の「フトン配給」等それ〴〵に好評を博した。

一月元旦、黎明祈禱會、子供の家にて。その順序、一同靜坐おつとめ松下當番挨拶、鈴木兄マタイ傳五章朗讀、八田兄修證義第一章朗讀。

一月二十六日午後二時から、攝政宮御慶事奉祝並に光の村建設祈禱會を子供の家で開く。靜坐祈禱。讀經「般若心經、維摩經四句誓願」(導師立山兄)報告「光の村建設について」(松下當番)の順序で嚴かに式は營まれた。それから茶話(別席)講演「結婚生活と宣光社」(中桐教授)樂石會、演劇「本尊」等があり、十時過ぎ散會した。

來會者、村上兄近藤兄石原兄龜井兄八田部兄杉谷姉浦岡姉木田姉藤岡姉田村姉藤井姉藤田兄大館兄丸山兄河村兄立山兄八田兄黑田兄須佐兄伊藤兄三原兄磯山兄植松兄拜田兄林兄久保田兄岩崎兄吉田兄嵯峨兄中西兄小竹兄中桐師中山兄迦兄渡邊兄小林兄松下兄宮澤兄野木兄佐藤兄赤松兄鄭磯部姉淺沼兄夏井兄梶浦姉加藤姉富屋姉。

帝都はまだ〳〵焦土のまゝである。殊に精神的には。來れ同人諸兄姉!

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

深謝と懇願

同人、光友其他大方の諸兄姉から『子供の家』へ金品の御供養を賜つたこと實に少からぬものがあります。不德私共ごときには過分に存ぜられる位です。無能の私共に果して何程のことが出來るか覺束ない限りてはありますが夙夜怠らず、芳志の萬一に報いたいと思つてゐます。尙、お願ひがあります。『子供の家』では、今、奉仕者が是非ほしいのです。保育に經驗のある方、使命をお感じの方の御來援を懇禱いたします。

東京、青山、明治神宮外苑バラック『子供の家』

東京一燈園當番　松　下　吉　衛

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN